

リメタゾン静注 2.5mg

【この薬は？】

| | |
|------------------------|---------------------------------------------------------|
| 販売名 | リメタゾン静注 2.5mg Limethason INTRAVENOUS INJECTION 2.5mg |
| 一般名 | デキサメタゾンパルミチン酸エステル Dexamethasone Palmitate |
| 含有量 (1アンプル (1mL) 中) | 4.0mg (デキサメタゾンとして 2.5mg) |

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、合成副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、活性代謝物のデキサメタゾンが抗炎症作用を示し、関節リウマチの痛みや炎症を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

関節リウマチ

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にリメタゾン静注に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・デスマプレシン酢酸塩水和物（男性における夜間多尿による夜間頻尿）を使用している人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・感染症にかかっている人
- ・全身の真菌症にかかっている人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・精神病の人
- ・結核にかかっている人
- ・単純疱疹性角膜炎の人
- ・後囊白内障の人
- ・緑内障の人
- ・高血圧の人
- ・電解質異常のある人
- ・血栓症の人
- ・最近、内臓の手術を受けた人
- ・急性心筋梗塞をおこした人
- ・糖尿病の人
- ・骨粗しょう症の人
- ・甲状腺機能が低下している人
- ・脂肪塞栓症の人
- ・脂肪肝の人
- ・重症筋無力症の人
- ・B型肝炎ウイルスキャリアの人、または過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがある人
- ・褐色細胞腫またはパラガングリオーマのある人、およびその疑いのある人
- ・腎不全の人
- ・肝硬変の人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [デスマプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）のうち男性における夜間多尿による夜間頻尿の治療に用いるもの] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

使用量、使用回数は、あなたの年齢、体重、症状などにあわせて医師が決め、医療機関において静脈内に注射されます。

通常、成人の使用量、使用量および回数は、次のとおりです。

| | |
|------|-------------------------|
| 1 回量 | 1 アンプル（デキサメタゾンとして2.5mg） |
| 使用回数 | 2 週に 1 回 |

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を中止した後、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどがあらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに医師に連絡してください。
- ・水痘または麻疹に感染すると致命的な経過をたどることがあります。感染が疑われる場合はただちに受診してください。
- ・この薬を使用している間、または使用中止後6ヵ月以内は、免疫機能が低下していることがありますので、生ワクチン〔麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、おたふく風邪、水痘（みずぼうそう）、BCGなど〕の接種を受けないでください。
- ・眼圧亢進、緑内障、後嚢白内障があらわれることがありますので、定期的に検査が行われることがあります。
- ・褐色細胞腫があることを認識していなかった状態でデキサメタゾン製剤（経口剤および注射剤）を使用した際に褐色細胞腫クリーゼが発現したとの報告があります。この薬の使用後に著しい血圧上昇、頭痛、動悸（どうき）などの症状があらわれた場合には、速やかに医師に相談してください。
- ・リンパ系腫瘍のある人にデキサメタゾン製剤（経口剤および注射剤）を使用した際に腫瘍崩壊症候群（意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ）があらわれたとの報告があるので、これらの症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・B型肝炎ウイルスキャリアの人、または過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがある人は、この薬の使用後や使用終了後に継続して血液検査などが行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ショック ショック | 冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失 |
| アナフィラキシー アナフィラキシー | 全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい |
| 誘発感染症、感染症の増悪 ゆうはつかんせんしょう、かんせんしょうのぞうあく | 発熱、寒気、体がだるい 〔B型肝炎ウイルスの増殖による肝炎としてあらわれる場合〕 体がだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる |

| | |
|----------------------|------------------------------|
| 緑内障 りよくないしょう | 目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる |
| 後嚢白内障 こうのうはくないしょう | 視力の低下、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|-----|--------------------------------------------------------|
| 全身 | 冷汗が出る、ふらつき、発熱、寒気、体がだるい、体がかゆくなる |
| 頭部 | めまい、意識の消失 |
| 顔面 | 顔面蒼白（そうはく） |
| 眼 | 白目が黄色くなる、目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない |
| 口や喉 | 喉のかゆみ、吐き気、嘔吐（おうと） |
| 胸部 | 動悸、息苦しい |
| 腹部 | 食欲不振、上腹部痛 |
| 手・足 | 手足が冷たくなる |
| 皮膚 | 全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる |
| 尿 | 尿の色が濃くなる |

【この薬の形は？】

| | |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 性状 | 白色のわずかに粘性のある乳濁液（注射剤） |
| 形状 | <p style="text-align: center;">アンプル</p>  |

【この薬に含まれているのは？】

| | |
|------|------------------------|
| 有効成分 | デキサメタゾンパルミチン酸エステル |
| 添加剤 | 精製ダイズ油、精製卵黄レシチン、濃グリセリン |

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：田辺三菱製薬株式会社

(<https://www.mt-pharma.co.jp>)

くすり相談センター

電話：0120-331-195

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、会社休業日を除く)